

主催者として、一言、ご挨拶申し上げます。本日は、出雲縁結び空港開港50周年記念式典を開催致しましたところ、多くの皆様方にご臨場賜り、心より感謝申し上げます。

出雲縁結び空港の運営や利用促進にあたり、長年にわたってご理解とご協力をいただいております、日本航空様、日本エアコミューター様、ジェイエア様、フジドリームエアラインズ様、そして、空港関係者や地元の皆様方に厚くお礼申し上げます。

特に、騒音や整備拡張による用地などの様々な問題を受け入れて頂いた空港周辺の皆様、出雲空港周辺対策協議会のご理解・ご協力に改めまして、深く感謝申し上げる次第であります。

さて、これまでの50年を振り返りますと、昭和41年に開港し、大阪、隠岐との間に定期便が就航しました。

昭和45年には、滑走路を1,200メートルから1,500メートルに延伸し、昭和54年には、東京との間に定期便が就航し、その翌年には、ジェット化が実現しました。

平成3年には、滑走路が現在の2,000メートルとなり、平成5年には、(国際線の就航が可能な)新ターミナルビルが完成し、利便性の向上が図られてきました。

おかげさまで、現在、東京・大阪・福岡・名古屋・隠岐との定期就航路線も15往復の運航となりました。

平成24年5月には、利用客が延べ2,000万人に達し、平成25年度は、出雲大社の遷宮効果もあり、初めて年間80万人を超えました。

現在も松江城の国宝化などもあって、利用は好調であります。

今後とも、出雲縁結び空港がより多くの方々に親しまれ、そして事故のない、安心、安全な空港として、より一層、利用されますよう最善を尽くしてまいります。

関係の皆様方には、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本日お集まりの皆様方のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。